取扱説明書

NITTAN 蓄圧式 圧力計付 強化液(中性)消火器

国家検定合格品

業務用 | **ステンレス製 強化液〈中性〉消火器** | 該当器種 ●ストップ付 | **NKNL-2S** **NKNL-3S**

写真は
NKNL-2Sです。

このたびは、ニッタン消火器をお買い求めいただきまことにありがとうございました。設置、ご使用される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい設置、正しい使い方をしてください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

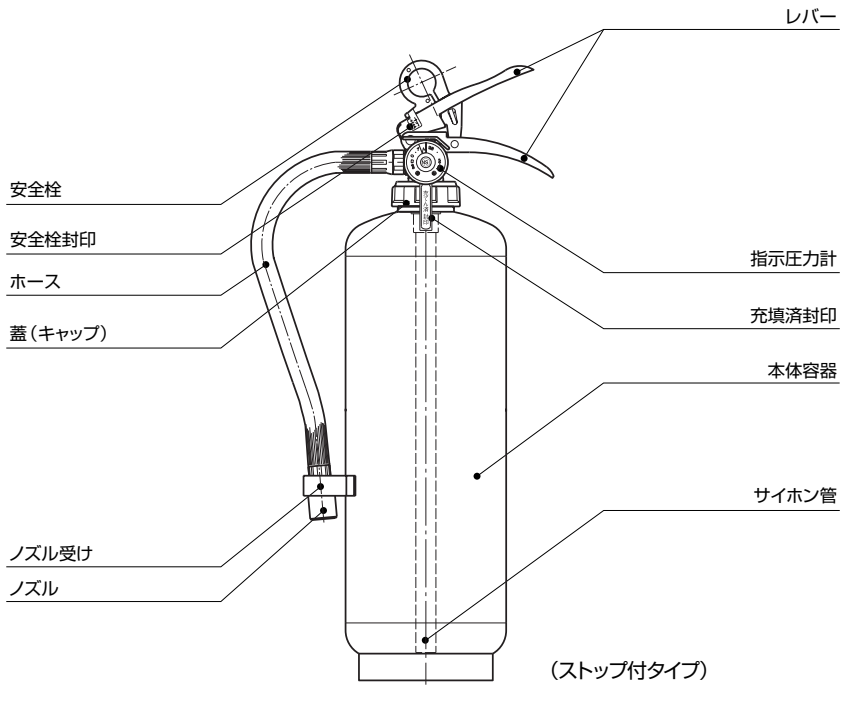
ニッコリタンちゃん
©NITTAN

消火器は圧力容器です。取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。

●取扱説明書では、ご使用上の注意内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害、損害の程度を「危険」「警告」「注意」で表示しています。

⚠危険	取扱い上容器が破裂し重大な人身事故が発生し、「死亡または重傷などを負う切迫した危険状況を示す」内容です。
⚠警告	設置上及び使用上「死亡または重傷などを負う潜在的な危険状況を示す」内容です。
⚠注意	設置上及び使用上「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

各部の名称・構造図



（ストップ付タイプ）

適応火災

この消火器は普通・油・電気火災に適応します。消火器本体容器のラベルに表示しています。

消火器には、適応火災を示すラベルが付いています。お求めの消火器が設置場所の予想される火災の消火に適した性能のものであるかご確認ください。

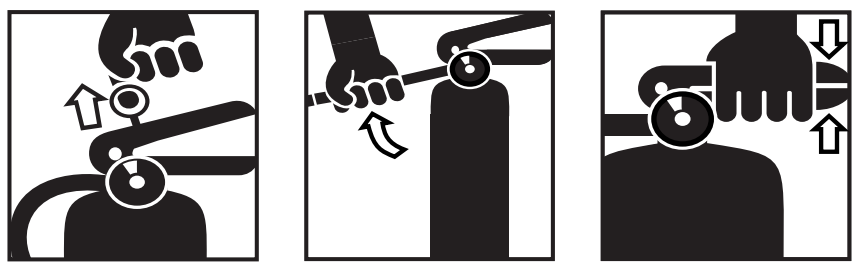
普通火災用 | 油火災用 | 電気火災用

●消火器には適応火災と消火能力単位が表示されています。
適応火災はその種の火災に適していることを意味し、消火能力単位は規格基準に基づく消火単位を表示しているもので、これをもって実火災における消火規模を限定することはできません。
●消火器は初期消火に効果を発揮しますが、火災規模、状況等により、どんな火災でも消火できるとは限りません。そのため、正しい使用方法に基づいて消火器を使用したにも拘らず消火できなかったことによる人的、物的損害についての賠償の責はご容赦願います。

使用方法

消火器本体容器のラベルに表示しています。

❶上レバーの黄色の安全栓を上方向に引き抜く。
❷ホースをはずし、ノズルを火元に向ける。
❸上下レバーを強く握り、火元を手前からはくようにして放射する。



①安全栓を引き抜く。 PULL
②ホースをはずし火元に向ける。 AIM
③レバーを強くにぎる。 SQUEEZE

使用後について

使用済の消火器は、販売店に依頼し速やかに再充填するか新しい消火器を設置してください。絶対に分解しないでください。
※放射動作を行い、ストップ操作した消火器を含みます。

消火器の廃棄（回収・リサイクル）について

※消火器はリサイクル対象品となります。
※廃棄の際は専門業者または以下の電話番号にお問い合せください。
※なお回収、廃棄処理は有料となります。ご理解とご協力をお願いします。

回収・リサイクル相談窓口　お問い合せ・ご相談はフリーダイヤルでどうぞ
0120-82-2306
電話受付時間 10:00～12:00, 13:00～17:00（土・日・祝日を除く）
http://ferecycle.jp

販売元 ニッタン株式会社
東京都渋谷区笹塚1-54-5
電話（03）5333-8601（代）

製造元 株式会社 初田製作所

販売店

取説175-1302

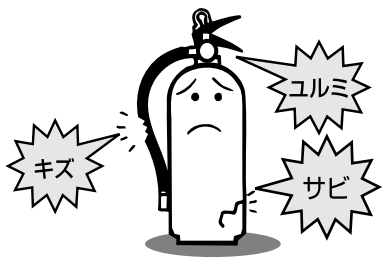
必ずお守りください

⚠ 危険

消火器本体容器の破裂等により人身事故発生のおそれがあります。
下記事項を必ずお守りください。

1.サビ・傷・変形・キャップ及び部品のゆるみ、脱落のあるものは絶対に使用しないでください。

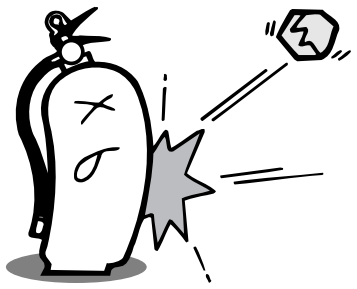
設計標準使用期限（10年）以内の消火器でも該当するものは、使用しないでください。



2.分解しないでください。

3.消火器は圧力容器です。消火器に強い衝撃を与えないでください。

本体容器の破裂等により人身事故発生のおそれがあります。

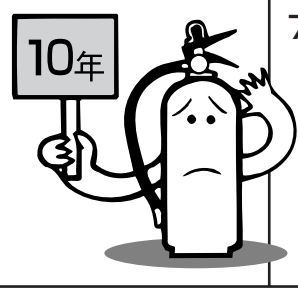


⚠ 警告

1.腐食し易い場所、湿気の多い場所、潮風や風雨にさらされる場所に設置しないでください。

2.濡れた床や地面に直接置かないでください。

3.使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。



4.絶対に人に向けて放射しないでください。

危害発生を招くおそれがあります。

5.火元から3m以上離れてから放射を開始してください。

6.避難経路を確保しながら消火してください。

7.設計上の標準使用期限（10年）を超えて使用すると、経年変化によりケガなどの事故になるおそれがあります。

8.製造年から10年を過ぎたものは、法で定めた水圧検査を実施してください。

本体容器の破裂により人身事故発生のおそれがあります。

9.6ヶ月ごとに法令で定められた点検を実施してください。

10.消火器の清掃は、水洗いや有機溶剤（ガソリン、ベンジン、シンナー等）及び中性洗剤を使用しないでください。

サビ、ホースの変質等の原因になります。
乾いた布等による清掃をおすすめします。

※消火器を廃棄される場合は必ず回収・リサイクル相談窓口にご相談ください。

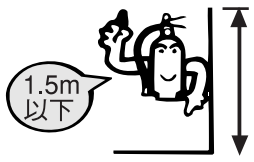
⚠ 注意

消火器を専用ブラケットに取付ける際には、消火器が確実に固定されていることを確認してください。バンド付きのブラケットは、止め金を最後まで確実にセットしてください。

設置上の注意

1.直接の床置きは避けてください。

消火器本体にキズ、サビ等が発生する原因になります。また、屋内では床等にキズが発生する原因になります。フック等による壁掛けまたは設置台、格納箱での収納をしてください。



※壁掛金具、設置台、格納箱は販売店にお申し付けください。
※壁掛けの場合、高さは1.5m以下に取付けてください。
※フック等で壁掛けする場合、必ずビスは木下地に取付けてください。石膏ボード等のみでは消火器が落下することがあります。

2.通行または避難に支障がなく、1.5m以下で目につきやすく、すぐに持ち出せる場所に設置してください。

3.地震や振動で消火器が転倒・落下しないように設置してください。

4.3ヶ月に一度外観を確認してください。

異常を発見した場合は、速やかに販売店に連絡し、整備等の処置をしてください。

5.この消火器は業務用消火器です。

家庭用には住宅用消火器を設置ください。

使用上の注意

1.適応火災は消火器本体のラベル表示と、この取扱説明書を確認してください。

燃焼物によっては適・不適があります。

2.消火器は初期消火をする器具です。消火範囲には限度があります。

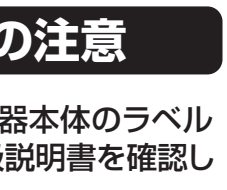
火災の大きさ、消火開始の時期、適応火災の条件により消火できない場合があります。

消火に際して

- ●ムリな消火活動はしないでください。逃げ遅れのおそれがあります。
- ●避難経路を確保して消火してください。
- ●屋外での消火は風上より消火してください。

3.試し放射をしないでください。

そのまま放置すると使用できなくなります。

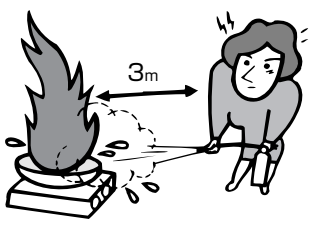


4.正しい使用方法で消火してください。

消火器本体容器のラベルに表示している使用方法に従って消火してください。

5.消火の際、火に近付き過ぎないようにしてください。

油火災の場合、油の飛散や、炎の吹き返しにより火傷等のおそれがあります。



消火開始時には、3m程度の距離を保ち、炎がおさまるにつれて接近してください。

6.ホースはしっかり握って消火してください。

ホースを手放すと放射方向が定まらず消火ができなくなります。

7.消火器は絶対に火中に投げ込まないでください。

消火器が破裂するなど大変危険です。正しい使用方法で消火してください。

8.放射時には本体を垂直にして使用してください。

斜めにすると放射の状態が悪くなります。
絶対に逆さにして使用しないでください。

9.火災発生時のガスに注意してください。

火災により発生したガスは人体に有害です。換気の悪い狭い部屋での消火は注意してください。

10.電気設備の火災は可能な限り元電源を切ってから消火してください。

水系の消火器で噴霧で放射するものは、消防法上は電気火災が「適」となっていますが、消火薬剤は通電性を有しています。
従って、通電したまま消火を行うと

- **●感電のおそれがあります。**
- **●電気設備がショートし、損傷することがあります。**

消火後、再度元電源が切れているか確認の上、速やかに点検・清掃をしてください。

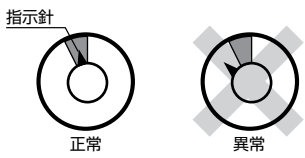
11.ホース、ノズルに亀裂のあるもの、ノズルが離脱しているものは使用しないでください。

12.黄色い安全栓の付いていない消火器は使用済です。

速やかに販売店へ連絡して再充填するか、新しい消火器に交換してください。

13.定期的に圧力計を確認してください。

圧力計の指示針が緑色ゾーンを指していれば正常です。異常の時は、速やかに販売店へご相談ください。



使用後の注意

1.ガスが関連した火災ではガスの元栓を必ず締めてください。

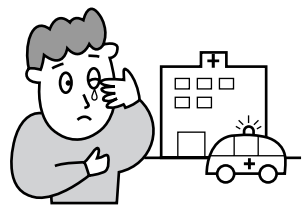
2.消火薬剤が身体にかかったり、目に入った場合。

●身体にかかった場合

水洗い等をして十分洗浄してください。

●目に入った場合

速やかに水洗いし、充血、目の痛みを感じたら医師の診察を受けてください。



3.消火薬剤のかかった食物は食べないでください。

4.飛散した消火薬剤は速やかに清掃してください。

放置しておくとカビの発生、金属類の腐食、電気絶縁の低下の原因となります。

5.消火薬剤の詰め替えは販売店に依頼し、製造元適合消火薬剤を充填してください。